

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [大牟田市立大牟田中央小学校] 担当教諭名 [棚町仁志・中島寛子・末永優子・篠倉健太] (6年1・2・3組 84名)

相手国・地域 [ペルー]

海外学校名 [Colegio La Unión] 担当教諭名 [Cesar Carrascal]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	総合的な学習の時間	世界遺産学習	28
	図画工作科	私の大切な風景	2

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	未来を創ろう～世界文化遺産を通して～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	お互いの世界遺産の紹介や交流を通して、文化の違いを理解し、お互いを知り、未来を創っていくのは自分達だ！！と実感することが大切である。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ会議をおこなったことや、壁画が戻ってきたことで、相手意識と学習意欲がとても高まった。 ・自己紹介をしたり、自己紹介をみたり、プレゼントを贈ったりして、外国に友達ができたと喜んでいました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペルーと時差があり、テレビ会議の時間設定が難しかった。 ・日本とペルー側の児童の人数差が多かった。 ・経費の問題、頻繁に連絡が取れないので、進められない時があった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・初めはペルーについて全く知らなかった子供達が、ペルーという国に興味をもった。 ・ペルーとのテレビ会議を通して、日系人が多く、日本とのかかわりがあることや日本との時差や季節の違い、食文化などの相違点に対して大きな気づきがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界は以外と身近なものだと感じることができた。 ・日系人が多いことから、ペルーと日本は身近な関係にあることがわかった。 ・改めて自国やペルーの世界遺産について知ることができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介のフリップ作り 自己紹介ムービー作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペルーってどんな国だろう。 ・ペルーは日本とゆかりがあるんだ。日本語がわかるけどゆっくり発音しよう。 	総合1
共有 テーマ学習	6月 8月 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産見学 ・ペルーについての調べ学習 ・ラ・ウニオン校とのテレビ会議 ・塩飽さんによる出前授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産のことがよくわかったぞ。 ・ペルーにも世界遺産がたくさんあるんだ。 ・テレビ会議ってすごいな。こっちは朝なのにペルーは夜だ。 	総合10
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	9月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・組体操でペルーを表現 ・壁画のデザイン検討, 交流 ・日本の伝統文化・学校紹介 ・プレゼント作り(カルタ・折り紙) ・手紙 ・壁画下描き 	<ul style="list-style-type: none"> ・組体操で世界一周をテーマにしてペルーを取り入れよう。 ・大牟田といえばカルタだから、世界遺産をカルタにして紹介するといいね。 ・地球を真ん中に描こうよ。 	総合16
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画の彩色、完成 ・プレゼント・手紙発送 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に塗ろう。 ・折り紙・カルタや手紙は喜んでくれるかな。 	図工2
評価 振り返り 自己評価	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・作品開封の儀(新聞社取材) ・保護者、地域の方への披露 	<ul style="list-style-type: none"> ・素敵な作品が届いた！ ・ペルーの世界遺産がたくさん描かれている。 	総合1

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	テレビ会議やフォーラムで日本のことをペルーに紹介することを通して、改めてよさを見つめなおすことができた。
異文化を理解する力	5	テレビ会議を通して、実際にペルーの友達と交流できたことで、ペルーの文化に興味をもって理解できた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	映像を使って、日本の学校について、日本文化について紹介することができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	スペイン語や日本語でのあいさつをし、相手意識をもってコミュニケーションを図ろうとしていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	相手校を理解しようとはしたが、批判的な視点にはいたらなかった。
主体的に考え行動する力	4	壁画だけでなく、手紙やカルタ・折り紙など、日本の文化を伝えたいという思いがあった。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	役割分担をし、グループに分かれて協力して取り組むことができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	壁画やカルタでは、構図や彩色では、どうすれば相手国に日本文化のよさがよく伝わるのか工夫しながら取り組むことができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	開封の式をし、卒業式の会場に飾り、児童や保護者と共に鑑賞し、活動を振り返ることができた。